

ここでは、基本計画（案）の中でも、特に意見を頂きたいポイントを抜き出して記載しています。基本理念を達成するための基本計画（案）について、ぜひ皆さんの様々な意見をお聞かせください。

基本理念：市民に開かれたコンパクトな庁舎 ～港町の歴史と自然に向き合いながら「清水のまちづくり」を未来へリードする～

人やまちを守り、様々な災害に対応する庁舎になります ～清水区の防災拠点～

POINT★ウォーターフロント地域の防災力が向上します！

現在、津波避難ビルの空白地帯となっている駅東エリアに、新たに市民の方が緊急避難できる庁舎が生まれます。

具体的に何人の人が緊急避難できるのですか？

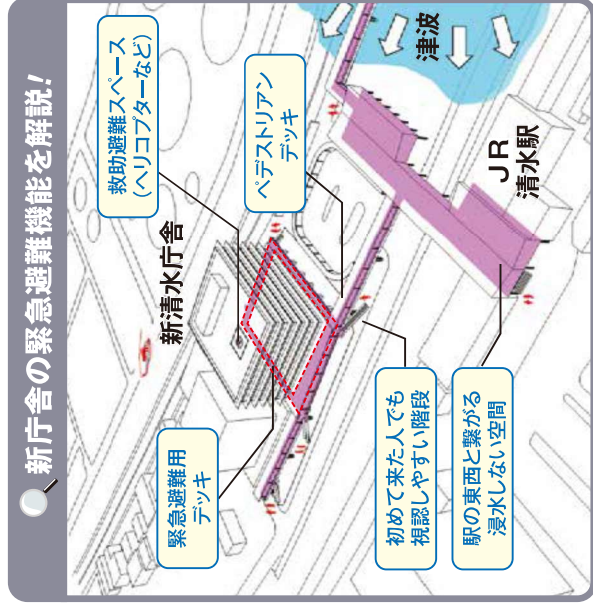
約12,800人です。庁舎の緊急避難用デッキやペDESTリアンデッキ、立体駐車場に約10,000人、庁舎の内部に約2,800人が緊急避難できると想定しています。

災害時のために造る「ピロティ」や「緊急避難用デッキ」は、平常時は何もない空間なのですか？

「災害時」と「平常時」どちらにも活用できるように工夫します。くわしくは、下記の「清水区のまちづくりの拠点」をご覧ください。

POINT★津波発生時も孤立せず、清水駅西口地区と行き来できます！

周辺にあるJR清水駅、マリナート等とペDESTリアンデッキでつながっていることで、浸水しない建物同士を結ぶことができます。



POINT★新庁舎の緊急避難機能を解説！

救助避難スペース (ヘDESTリアンなど)

緊急避難用デッキ

初めて来た人でも視認しやすい階段

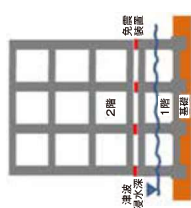
駅の東西と繋がる浸水しない空間

津波

JR清水駅

POINT★最大クラスの地震や津波に耐えられる建物になります！

- 最大級の安全性がある免震構造を採用します。
- 津波による建物の転倒が防止できる「ピロティ形式」を採用します。
- 液状化対策を実施します。



ピロティ形式とは何ですか？

1階部分を柱だけの開放的な空間とすることで、津波が通り抜けていく構造のことをいいます。

POINT★大地震が発生しても災害対策拠点として業務が続けられるようになります！

- 災害対策本部などの活動拠点や重要な設備室は津波浸水被害を受けないフロアに設けます。
- 設備機器の耐震対策を実施します。
- 電気、ガス、飲料水、通信などの災害対策上の命綱や物資が途絶えないように備えるほか、燃料や食料なども備蓄します。

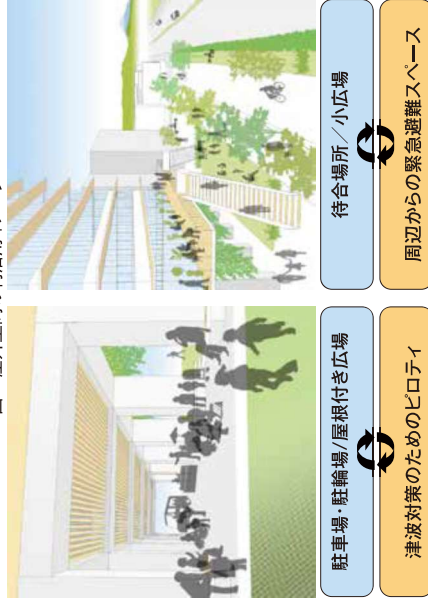


人と人、人とまち、まちとまちがつながる庁舎になります

～清水区のまちづくりの拠点～

POINT★エリアの周辺施設と共に、駅周辺のまちづくりを加速させます！

図：屋外空間の活用イメージ



- ペDESTリアンデッキにより、駅直結のアクセスが良い庁舎になります。
- 入り口からの近さや車両間隔に配慮した、誰もが使いやすい駐車場に生まれ変わります。
- 障がいのある方、お年寄り、お子様連れの方など、誰もが使いやすいユニバーサルデザインを取り入れた庁舎になります。

POINT★駅、バス停、駐車場から雨に濡れずに庁舎に行けるようになり、利便性が高まります！

イメージ



公共空間ってどんなことに使えるの？

例えば、屋根付きのピロティは軽トラ市やフリーマーケットなどに使えます。街中に人を回遊させたり、周りの施設と相乗効果が出るような公共空間の使い方について、皆さんのアイデアも聞かせてください！

僕が大人になるころの庁舎はどうなっているの？

将来、インターネットで全て手続までできるようになるのでは？

社会変化や市民ニーズの変化、ICTの進展による職員数や来庁者数の増減に伴うレイアウト変更などに柔軟に対応できる庁舎にしていきたいです。

誰もが訪れやすい使いやすい庁舎になります

～清水区民の行政サービス拠点～